

筑後市庁舎建設基本計画(素案)に対する意見募集結果

1. 意見募集期間 : 令和6年12月23日(月)～令和7年2月4日(火)
2. 公表場所 : 市ホームページ、市役所本庁舎総合案内窓口、市立図書館、契約管財課窓口
3. 意見提出数 : 150件(97人)
4. 意見提出方法の内訳 : 持参75人、電子申請12人、電子メール4人、市民説明会6人

寄せられた意見と、それに対する市の方針を一覧表にして掲載します。

No.	意見区分	内容(原文)※表現を一部修正しております。	市の考え方
1	冠水対策	現庁舎敷地への建設には反対します。現在地周辺はこれ迄も度々大雨による被害が出ております、これから先100年を考えると市庁舎東側の東側の護岸をかさ上げしていてもその上流が氾濫し、もっともっと大きな被害が出るのが想定されます。防災中枢拠点となるべき市庁舎が陸の孤島になってしまうはその役目を果たすことが出来ないではありませんか。昨日大牟田市も隣接の公園への移転が発表されました当市においても現在地より数mは高い場所にある窓が原公園に新設することに支障はないと思われます。	ご意見のとおり、過去の記録的な大雨により、山ノ井川の洪水の影響を受け、現庁舎周辺では浸水被害が発生しました。この浸水リスクを低減するため、気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域治水の考え方に基づき、国・県・関係市町がそれぞれの役割に応じて、関係機関と連携しながら流域全体の治水対策を進めています。 山ノ井川の管理者である県の治水対策としては、令和元年8月豪雨以降、河道拡幅や堤防の嵩上げ、浚渫などが実施されています。また、筑後川への排水能力を強化するため、排水ポンプの増設や、八女市内からの雨水流出を抑制する調整池3池の整備を計画しています。 市の治水対策としては、大雨が予測される際に国営水路や山ノ井川で実施している先行排水(事前放流)をはじめ、河川や水路の浚渫・改修などを実施しており、治水対策に関する計画は、県ホームページに「山ノ井川・宇田貫川総合内水対策計画」、市ホームページに「筑後市流域治水プロジェクト推進計画」を掲載しています。 これらの対策により、山ノ井川の水害リスクは大幅に低減される見込みであり、今後も流域治水対策を推進し、安全性をさらに高めていきます。また、新庁舎の建設にあたっては、災害時の機能確保を最優先に考え、耐水性・耐災害性を備えた施設整備を行います。 加えて、令和6年3月に策定した「JR羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画」に基づき、本地区の内水対策として、雨水貯留施設の整備や排水路の改修を進めるとともに、地域と一体となった防災まちづくりを進めており、中心拠点である羽犬塚駅周辺地区の安全性と防災性の向上に取り組んでいます。 庁舎の移転も検討しましたが、移転によって市民の利便性が損なわれる可能性があるうえ、都市計画や公共交通ネットワーク、建設コストなども総合的に判断する必要があります。こうした点を踏まえ、必要な治水対策を講じながら、安全性を確保しつつ、現在地での建て替えを進めることが最善であると判断しました。
2	冠水対策	梅雨期、集中豪雨の時期に庁舎周辺の冠水問題が、見込まれますがこれらの対策は。	同上
3	冠水対策	水害の影響を受けない広い土地への建設を望みます。	同上
4	冠水対策	現在の市庁舎周辺は水害の心配がありますので別の場所に市庁舎建設を希望します	同上
5	冠水対策	水の被害のあるところでは困ります もっと西側に	同上
6	冠水対策	水害危険地域ではない場所へ建設して下さい	同上

7	冠水対策	自然災害が多い為、水びたしで通れなかった為、今の場所は反対です	同上
8	冠水対策	大雨で民家、居酒屋等がつかって大変だということを聞いています。今の場所は反対	同上
9	冠水対策	ハザードマップで危害が発生するおそれのある地域に指定されている場所に建設のはどうかと思う。	同上
10	冠水対策	新庁舎は災害が発生時の司令拠点のはず 浸水で司令拠点に渡れないでは困る	同上
11	冠水対策	市役所の新築には反対しないが、場所は最悪のところ、となりの山ノ井川のハンランで3メートルも水没するとハザードマップに乗っている。別の場所にすべきだ！	同上
12	冠水対策	庁舎は古いので建て替えには賛成だが過去5年に3回交通止め、209号とサンコア前も冠水し市役所へ行けなかった。最大で3mも水ぼつするとこになぜ建てる必要があるのか納得しない。別の場所、古島小跡でも良いのではないかと思う。	同上
13	冠水対策	大牟田市は庁舎建設地について水害の少くてすむところ 現在地より高い裏の笹林公園に建て替えることにしたと昨年6月新聞で読みました。現在地での建設は大反対。水害のない処に変更して下さい。	同上
14	冠水対策	ハザードマップは危険を知らせる地図のはず 水びたしの場所に建てるのか、大反対	同上
15	冠水対策	庁舎の回り(四方)冠水注意地域だ、なぜこんな危険地区に建設するのか	同上
16	冠水対策	温暖化での山の井川は今以上に氾濫するのは非を見るより明らか、最悪、愚行としか言えない	同上
17	冠水対策	議員はハザードという言葉をしているか。知っているならどんなチェックをしたのか、市民に知らせる、議会はいらない、市民に代わって色々な視点でチェックするのが議会だ。機能、役割を果たせ	同上
18	冠水対策	梅雨の大雨のとき、市役所の周辺は膝までの冠水が毎年発生し市役所は陸の孤島となりました。どうしてここが最適でしょうか、職員の資質を疑います。	同上
19	冠水対策	防災拠点(指令所)が水没し、ボードで脱出したでは笑いもの、反対だ	同上
20	冠水対策	危害が発生するおそれ大きい地域に計画は中止するべき 指令拠点にはならない、陸の孤島にならない所に！	同上
21	冠水対策	冠水注意地域に災害発生時の指令拠点を置く利点はあるのか？	同上
22	冠水対策	庁舎建設の場所は、安心安全な場所に決定して欲しいです。	同上
23	冠水対策	ハザードマップでは庁舎が注意地域ではだめではないか。	同上
24	冠水対策	庁舎の建設は1から出直せ、危害が発生する場所では司令拠点にはならない	同上

25	冠水対策	花地蔵で祝いごとする当日にことわれました。床下水が這入った為です。なので居転してほしいです。	同上
26	冠水対策	旧市庁舎の地域の大雨、浸水被害は大きく、そのため昔から防災・減災対策してきたはずですが、現在も被害が大きいです。浸水被害想定のない地域に移転できるなら移転していただきたい。	同上
27	冠水対策	時代に合わせてつくって欲しい。山ノ井川のそばは反対！！	同上
28	冠水対策	現庁舎敷地への建設には反対します。なぜなら雨が降るたびに被害がでているのにと思います。70年、100年先を考えると自然災害の起こりうるひんど、今でさえ「過去にないとか」、「観測史上」、「想定外」という語を各地で聞くようになり、もっともって市民の人達の意見を集めて、市としての役割をはたせる市民の寄り所になる庁舎を建てていただきたいと思います。	同上
29	冠水対策	庁舎建設計画が進められていますが、現在の庁舎や中央公民館・図書館がある場所は山ノ井川沿いにあり、周囲が冠水する危険性が極めて高いため、新庁舎を建設して欲しくありません。雨水貯留槽施設を設ける計画もあるようですが、雨水貯留槽を整備することによって、どの程度の雨量に耐えられ冠水する危険がなくなり、極めて安全な庁舎が建設できるようになるのかを庁舎建設基本計画第2章(P7)に明確に記載する必要があるのではないのでしょうか。	同上
30	冠水対策	今の場所ではダメ！あぶないです。	同上
31	冠水対策	新しく建てる市役所は別の場所がいいと思います。現庁舎敷地では大雨の時困る。	同上
32	冠水対策	川のそばは反対	同上
33	冠水対策	川のそばは反対！！ あれだけ周辺が水でつかったのに安全を確認せずして今の場所へ賛成はできません。目先ではなく、将来の子どもたちがつかう庁舎なので未来の災害を考えて場所を1から検討して欲しいです。こんな進行だと思いませんでした。	同上
34	冠水対策	現在地での建て替えの場合、過去の例から水害、災害の発生の恐れがあるだけでなく、防災拠点としての役割がはたせないと思います。	同上
35	冠水対策	市がハザード危険箇所と指摘しているところに新庁舎を建てるなどおかしくないですか、こんなことをチェックできない市議会は必要ないです。どういうチェックをしたのか市民へ知らせてください。	同上
36	冠水対策	地球温暖化で世界中大洪水が発生している、1月6日には雨の少ないイギリスで大洪水が発生した。ハザードマップで水害危険地域と市が示している場所になぜ建設するのか、水害の恐れのない所に変えろ	同上

37	冠水対策	<p>全員協議資料(庁舎建設について)</p> <p>・第5回、第6回会議を通して協議検討内容(参考) 2.浸水対策(4ページ)</p> <p>市役所周辺は(徳久行政区含む)大雨、豪雨時に道路の浸水が有り通行不能となることが数多くあります。災害の避難場所として「サンコア、羽小体育館」を利用する様、周知徹底を図っています。この事から市庁舎建設におかれましては安全安心を第一に、道路の改築をぜひお願い致します。(市の説明会に於てお話しうかがいましたが)重ねてお願い致します。すばらしい市庁舎の実現を祈念致します。</p>	同上
38	冠水対策	<p>17名の議員さん、市長の言いなりでは笑われますよ、しっかりして下さい。危険(水害)のない所に変更すべきで有る。</p>	同上
39	冠水対策	<p>2024年12月、市が作った防災ガイドブックをもらった。26ページを見たのか、市役所と、消防署は、浸水のとき、想定される浸水深かさは、0.5メートルから、3.0メートルで1階、床上浸水のところになっている。廃校になる古島の学校跡も検討すべき。</p>	同上
40	冠水対策	<p>既に現在地、窓ヶ原公園案となっている候補地、各種データを鑑みると現在地案が強いようです。但し消防署もですが、水害対策はきっちり案を出していただかないと、市民は納得いかないと思います。用地的には廃校の土地の有効利用もあったと思います</p>	同上
41	冠水対策	<p>自然災害を受けない場が良い 今の場所はダメ</p>	同上
42	冠水対策	<p>周りの方からも市役所付近は大雨が降った時はつかってしまうということで他の場所にうつした方がいいと思う</p>	同上
43	冠水対策	<p>庁舎の建設を市民全体の何割が把握出来ているのでしょうか？広報に記載したのでそれでよし！ではなく、市民への配慮が足りないと思います。危害のおそれがある地域に建設しようと考えられているのが理解できない。市民が納得できる判断、決断を望みます。</p>	同上
44	冠水対策	<p>今の場所に建設するということについては難しいのではと思います。現在でも駐車場が狭くて困っているのに、ここに建設となると、これ以上に駐車場でも困るし、別な場所に建設して欲しいです。又雨のため水害も気にしないといけないことなので、是非サザンクスあたりにも思っています。</p>	<p>駐車場に関しては、現在の来庁者駐車場は134台であり、建設後の来庁者駐車場は、170台を確保する予定です。これは、新庁舎建設時点では、必要となる台数となります。今後は、人口減やDX化により、駐車場の必要台数は減っていくと思われます。</p> <p>ご意見のとおり、過去の記録的な大雨により、山ノ井川の洪水の影響を受け、現庁舎周辺では浸水被害が発生しました。この浸水リスクを低減するため、気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域治水の考え方にに基づき、国・県・関係市町がそれぞれの役割に応じて、関係機関と連携しながら流域全体の治水対策を進めています。</p> <p>山ノ井川の管理者である県の治水対策としては、令和元年8月豪雨以降、河道拡幅や堤防の嵩上げ、浚渫などが実施されています。また、筑後川への排水能力を強化するため、排水ポンプの増設や、八女市内からの雨水流出を抑制する調整池3池の整備を計画しています。</p> <p>市の治水対策としては、大雨が予測される際に国営水路や山ノ井川で実施している先行排水(事前放流)をはじめ、河川や水路の浚渫・改修などを実施しており、治水対策に関する計画は、県ホームページに「山ノ井川・宇田貫川総合内水対策計画」、市ホームページに「筑後市流域治水プロジェクト推進計画」を掲載しています。</p> <p>これらの対策により、山ノ井川の水害リスクは大幅に低減される見込みであり、今後も流域治水対策を推進し、安全性をさらに高めていきます。また、新庁舎の建設にあたっては、災害時の機能確保を最優先に考え、耐水性・耐災害性を備えた施設整備を行います。</p> <p>加えて、令和6年3月に策定した「JR羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画」に基づき、本地区の内水対策として、雨水貯留施設の整備や排水路の改修を進めるとともに、地域と一体となった防災まちづくりを進めており、中心拠点である羽犬塚駅周辺地区の安全性と防災性の向上に取り組んでいます。</p> <p>庁舎の移転も検討しましたが、移転によって市民の利便性が損なわれる可能性があるうえ、都市計画や公共交通ネットワーク、建設コストなども総合的に判断する必要があります。こうした点を踏まえ、必要な治水対策を講じながら、安全性を確保しつつ、現在地での建て替えを進めることが最善であると判断しました。</p>

45	建設場所	<p>市民説明会に3回参加させて頂きました。参加者の顔触れを見て、庁舎建設に関して、市民に十分に浸透していない、と感じたところです。</p> <p>庁舎建設事業は、周辺のまちづくりと連動した庁舎の計画が求められます。市の説明は、現在地建て替えに終始していたように思いました。</p> <p>庁舎建設という大事業だからこそ、市民の関心をもっと高めることに努めて頂きたい。</p> <p>市民説明会の質疑応答について、印象に残った質問が幾つかありました。その一つ、1回目のサンコア会場にて「私にもアンケートが来たが、迷った末に建設場所の問いにはYesとした。集いや賑わいの場を考えれば、窓ヶ原公園も良いのではないかと思った。」</p> <p>建設場所について、市は市民からの意見集約を十分に図ったのでしょうか、新庁舎建設の機運を醸成するためにも市民参画に意を注ぐべきです。庁舎建設に反対する人は皆無だと思えます。今後には禍根を残さぬよう、今一度立ち止まって考え、前に進められることを望みます。</p>	<p>基本構想時の平成28年度から庁舎建設に関する協議・検討を「市民アンケート」、「市民ワークショップ」、「団体ヒアリング」、有識者をはじめとする多方面の委員からご意見を頂くための「筑後市庁舎のあり方検討推進会議」、加えて、市議会の「庁舎建設特別委員会」といった様々な手法を用いて民意を吸い上げ、反映して基本構想を策定しています。</p> <p>建設地についても、当時から協議・検討を重ね、4候補地の中でも現敷地が再度優位であるという検討資料を用いて、2候補地まで絞ったところで基本構想が策定となっています。</p> <p>その後、約7年のブランクを経て、見直しをかけた市の方針を、まずは、令和6年6月の全員協議会で説明したところです。その後、「市民アンケート」「筑後市庁舎のあり方検討推進会議」「庁舎建設特別委員会」で協議・検討を行い、また、広報への掲載や記者会見を実施し、庁舎建設事業の進捗を市民の皆さまへの周知を行ってまいりました。そして、更には市民の意見を伺うため、パブリックコメント及び市民説明会を実施したところです。</p> <p>今後とも、議会や市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら庁舎建設に取り組めます。</p>
46	建設場所	<p>窓ヶ原公園と市庁舎跡地2ヶ所の候補地がありますが市民と議会の意見をもう少し耳に入れて慎重に進めて欲しい</p>	同上
47	建設場所	<p>1/28日の新市庁舎建設基本計画の説明会に出席。建設用地は、現在の庁舎跡地との説明会だった。一部の市民の要望をもとに計画するのは、市長はじめ執行部の走り過ぎではないか。議会の特別委員会や全員協議会の考え方・方向性が考慮されていない。</p> <p>高野一成議員をはじめ定数17名中11名から提出された新庁舎建設に係る意見書も重視すべきでは？</p> <p>市執行部と市議会の考え方が一致していない。車の両輪の役割は？</p>	同上
48	建設場所	<p>新市庁舎建設計画は数ヶ所の候補地がありましたが、十分な議論がなされることなく、いつの間にか、現在の市庁舎地に決定したかのような状況になっております。新市庁舎は市民全体の財産です。よって市民の出来る限りの総意をもって、計画決定をしなければなりません。</p> <p>立地条件、規模、建設費等、市民の理解を得る必要が重要です。もう少し市民に丁寧に説明が肝要です。一部の人以上で計画を進めるべきものではない。よって、当初に立ち帰って議論を開始して頂きたい。</p>	同上
49	建設場所	<p>場所選定の決め方が性急過ぎる。市民にたいしてもっと開かれたかたちで議論すべきだと思う。例えばサザンクスなどを使って公開討論会・シンポジウムなどもっと市民に対して大きく開かれたかたちで進めるべき。鹿児島本線より西側が発展していないので新市庁舎は移転した方が良いと思う。現在地はせまい。窓ヶ原公園跡地にして、県や国の行政機関を同じ区画に誘致し、一帯を行政地区にすると、統合されたかたちで市民に対しても使いかたががよいと思う。ただ建て替えるでなく、筑後市の未来の発展を担った市庁舎にしてほしい。</p>	同上
50	建設場所 (窓ヶ原公園)	<p>たとえば窓ヶ原公園に建設した場合、交通の利便性はもとより、現在地よりかなり広いので、自由な設計が出来、サザンクス筑後とも近くなるので駐車場不足の問題もなくなるのではないのでしょうか。建設場所を決定するのにもう少し時間をかけ、議論を重ねるべきではないでしょうか。</p>	<p>現在の来庁者駐車場は134台であり、建設後の来庁者駐車場は、170台を確保する予定です。また、今後は、人口減やDX化により、駐車場の必要台数は減っていくと思われます。</p>

<p>51 建設場所 (窓ヶ原公園)</p>	<p>将来100年を前提にすれば、市発展は西側にかかっている。様々な要素を中長期観点から検討すべきである。現在地は、209号渋滞、水害、駐車場不足等の問題がある。短期的な金領よりも長期視点では「窓ヶ原公園」がベターであると思う。</p>	<p>2候補地については、様々な観点から比較検討を行い、市の方針としては現敷地が優位と考えます。 209号の渋滞については、交通渋滞軽減のために、庁舎敷地側にバスベイを設置することを検討します。 ご意見のとおり、過去の記録的な大雨により、山ノ井川の洪水の影響を受け、現庁舎周辺では浸水被害が発生しました。この浸水リスクを低減するため、気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域治水の考え方にに基づき、国・県・関係市町がそれぞれの役割に応じて、関係機関と連携しながら流域全体の治水対策を進めています。 山ノ井川の管理者である県の治水対策としては、令和元年8月豪雨以降、河道拡幅や堤防の嵩上げ、浚渫などが実施されています。また、筑後川への排水能力を強化するため、排水ポンプの増設や、八女市内からの雨水流出を抑制する調整池3池の整備を計画しています。 市の治水対策としては、大雨が予測される際に国営水路や山ノ井川で実施している先行排水(事前放流)をはじめ、河川や水路の浚渫・改修などを実施しており、治水対策に関する計画は、県ホームページに「山ノ井川・宇田貫川総合内水対策計画」、市ホームページに「筑後市流域治水プロジェクト推進計画」を掲載しています。 これらの対策により、山ノ井川の水害リスクは大幅に低減される見込みであり、今後も流域治水対策を推進し、安全性をさらに高めていきます。また、新庁舎の建設にあたっては、災害時の機能確保を最優先に考え、耐水性・耐災害性を備えた施設整備を行います。 加えて、令和6年3月に策定した「JR羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画」に基づき、本地区の内水対策として、雨水貯留施設の整備や排水路の改修を進めるとともに、地域と一体となった防災まちづくりを進めており、中心拠点である羽犬塚駅周辺地区の安全性と防災性の向上に取り組んでいます。 庁舎の移転も検討しましたが、移転によって市民の利便性が損なわれる可能性があるうえ、都市計画や公共交通ネットワーク、建設コストなども総合的に判断する必要があります。こうした点を踏まえ、必要な治水対策を講じながら、安全性を確保しつつ、現在地での建て替えを進めることが最善であると判断しました。 駐車場に関しては、現在の来庁者駐車場は134台であり、建設後の来庁者駐車場は、170台を確保する予定です。また、今後は、人口減やDX化により、駐車場の必要台数は減っていくと思われます。</p>
<p>52 建設場所 (窓ヶ原公園)</p>	<p>窓ヶ原に移転して下さい。なぜならば209渋滞緩和のためにも、現在地は水害時、接近不可です</p>	<p>209号の渋滞については、交通渋滞軽減のために、庁舎敷地側にバスベイを設置することを検討します。 ご意見のとおり、過去の記録的な大雨により、山ノ井川の洪水の影響を受け、現庁舎周辺では浸水被害が発生しました。この浸水リスクを低減するため、気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域治水の考え方にに基づき、国・県・関係市町がそれぞれの役割に応じて、関係機関と連携しながら流域全体の治水対策を進めています。 山ノ井川の管理者である県の治水対策としては、令和元年8月豪雨以降、河道拡幅や堤防の嵩上げ、浚渫などが実施されています。また、筑後川への排水能力を強化するため、排水ポンプの増設や、八女市内からの雨水流出を抑制する調整池3池の整備を計画しています。 市の治水対策としては、大雨が予測される際に国営水路や山ノ井川で実施している先行排水(事前放流)をはじめ、河川や水路の浚渫・改修などを実施しており、治水対策に関する計画は、県ホームページに「山ノ井川・宇田貫川総合内水対策計画」、市ホームページに「筑後市流域治水プロジェクト推進計画」を掲載しています。 これらの対策により、山ノ井川の水害リスクは大幅に低減される見込みであり、今後も流域治水対策を推進し、安全性をさらに高めていきます。また、新庁舎の建設にあたっては、災害時の機能確保を最優先に考え、耐水性・耐災害性を備えた施設整備を行います。 加えて、令和6年3月に策定した「JR羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画」に基づき、本地区の内水対策として、雨水貯留施設の整備や排水路の改修を進めるとともに、地域と一体となった防災まちづくりを進めており、中心拠点である羽犬塚駅周辺地区の安全性と防災性の向上に取り組んでいます。 庁舎の移転も検討しましたが、移転によって市民の利便性が損なわれる可能性があるうえ、都市計画や公共交通ネットワーク、建設コストなども総合的に判断する必要があります。こうした点を踏まえ、必要な治水対策を講じながら、安全性を確保しつつ、現在地での建て替えを進めることが最善であると判断しました。</p>

53	建設場所 (窓ヶ原公園)	窓ヶ原に移転して下さい。なぜならば市立病院、サザンクス、農林教育事務所、九州農試・JA・地区センターなど一帯で集中、活用できる利便性向上のために	現敷地には、中央公民館、図書館、消防署、保健センター、郵便局やJA、商業施設が近接しており、特に消防署との連携は重要と考えます。利便性については、現敷地が優位と考えます。
54	建設場所 (窓ヶ原公園)	窓ヶ原に移転して下さい。なぜならば外部から、八女IC~大川方面のすぐわかる。広いP場確保実現のできるの	駐車場に関しては、現在の来庁者駐車場は134台であり、建設後の来庁者駐車場は、170台を確保する予定です。また、今後は、人口減やDX化により、駐車場の必要台数は減っていくと思われます。
55	建設場所 (サザンクス)	出来る事ならもっと広い場所にして欲しい。狭い209号線に立地する必要はないと思う。サザンクスが筑後市の中心であればその近辺に建設すれば、市立病院、教育事務所、県税事務所、自動車試験場等主要機関が多い。広い土地も有しているJR西側にすればいいのでは。アクセスもよし、段階的にでも総合庁舎になればと思う。	前提として29年7月に策定しました基本構想は市民の方々の多くの意見を反映した基本構想だと思ってます。この基本構想を継承し、その考え方に基づいて進めていますので、4候補地から2候補地に絞られた、候補地Aと候補地Bを基本に建設地は決めていくとしています。
56	建設場所 (羽犬塚駅)	羽犬塚駅への移転地の利を生かし、羽犬塚駅や駅周辺をJR九州等の共同出資でオフィスビル・集合住宅を開発し、市役所はテナントで入居する。また、同ビルは宿場町として旅行者向け宿泊施設、散策路整備、レンタカー等の事業者誘致などを検討する。	同上
57	建設場所 (船小屋)	これまでの筑後広域公園の整備、新幹線筑後船小屋駅やホークス2軍本拠地の誘致などから、更なる市南部の活性化とみやま市との連携を重視していくのであれば、新庁舎建設基本計画第3章1(2)市の将来像を踏まえ、建設場所については、現庁舎敷地に決定するのではなく、新幹線筑後船小屋駅周辺地区に新庁舎を建設するべきであると考えます。新庁舎は、新幹線筑後船小屋駅周辺地区に建設されるよう要望します。	同上
58	建設場所 (尾島)	筑後市内で深刻な浸水災害が想定される地域は、矢部川流域周辺の市南部地域であり、特に、筑後広域公園や筑後船小屋駅周辺が危険性の高い地域であると思われます。このような地域に浸水災害に強い市民のための防災避難施設として新庁舎を建設することで、筑後市が極めて高い浸水災害対策都市であると評価されるとともに、全ての市民が安心できる市になると思います。新庁舎は、「恋ぼたる」がある敷地に高層階の新庁舎を建設されるよう要望します。	同上
59	建設場所 (水田)	今の場所ではなく水田に	同上
60	建設場所 (現敷地)	老朽化による建て替え、場所は理解できます。	今後とも、市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら庁舎建設に取り組みます。
61	建設場所	市の場所はわからないのでどこでもいいです。市役所がたてなおるのはいい事です。	市としては、現敷地での建て替えが優位であると考えます。
62	建設場所	建設地の選定に関しては、「市民アンケート」及び「庁舎のあり方検討推進会議」により、民意を十分に得ている。	今後とも、市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら、早急に建設できるように取り組みます。
63	市民アンケート	建設場所の選定に限定してアンケートの取り直しをしてほしい。広報にて全市民に2案のメリット、デメリットを詳細に知らせたうえで判断を仰ぐべきだと思います。100年に一度の大計です、少人数の意見だけで決定する事案ではないと思います。	市民アンケートについては、無作為で抽出された1,578人を対象に、2案のメリット、デメリットを詳細に知らせたうえで判断を仰いでいます。また、信憑性については、統計学上、筑後市では、1578人中概ね400人の回答(実回答数621人)を得られれば、信憑性があるという根拠のもとにアンケートを実施しています。
64	市民アンケート	市庁舎建設は先き100年を踏まえた計画である。市執行部の拙速さか感じられる。昨年のアンケートで「市は現在地が良いがみなさんは?」の間には、〇〇のさえたものではないか。このアンケート数字を根拠にするのはあまりに稚拙である。	同上

65	市民アンケート	ぜったい今のばしょダメだと思います。全市民アンケートをとってほしい。	同上
66	市民アンケート	大きな税金をつかうのだから全市民にアンケートをとるできます。	同上
67	市民アンケート	市民アンケートで、市の考え「現庁舎敷地が適している」を理解する方が85.7%であったことから、市民の理解が得られたとするのは、短絡的、稚拙な判断ではないでしょうか。	同上
68	市民アンケート	アンケート結果の信頼性について、国も同数程度のアンケートを行っており、はるかに規模の小さな筑後市では十分である旨の回答でしたが、全く以って安直な思考であると感じられました。最も身近で住民の意思の反映可能性の高い地方自治体(市町村)だからこそ、もっと住民の意思を聞くという姿勢も必要でないかと思われます。全体としてアカンタビリティ(説明義務)不足も痛切に感じました。	同上
69	取り組み方	表紙「今後も、市民や議会の意向を踏まえながら内容の精査・修正を行う予定」と書かれており、先の市民説明会のチラシにも、「市民の皆様のご意見を伺い、基本計画に反映するため」とある。先日の市民説明会及び今回のパブリックコメントで出された貴重な意見については、市として真摯受け止め庁内で議論を尽くし、「庁舎のあり方委員会」、「庁舎建設特別委員会」に諮ったうえで基本計画を修正すべし。建設基本計画は、100年に一度の大事業の基礎となるもの。拙速を避け、十分時間と労力をかけて固めるべし。	パブリックコメント及び市民説明会にて伺ったご意見については、真摯に受け止め庁内で議論をし、「庁舎のあり方検討推進会議」、「庁舎建設特別委員会」に諮っています。
70	取り組み方	先ず、庁舎建設の時間的な取り組みと建設基金積み立てについて...1頁2項5～6行、63頁2項、64頁3項 平成31年度庁舎建設基金積み立て開始当時の目標額は25億円でスタートし一定の目途が付くまで耐震補強の処置、令和5年3月目標額に一定の目途が付くとアンケートにある。中村市政まで、新幹線駅・Sh・北部拠点と大型物件がつづき単年度収支が4期赤字であった。西田市政になり一気に黒字化するために市民への行政サービスを圧縮し陰政による庁舎建て替えの基金作りのみに邁進し、市民や地域からの生活環境の整備に対する要望などの事業を圧縮して毎年10億円に近い不用額を決算している。これはあまりにも性急すぎる庁舎建設スケジュールではないか、(素案)の基金額43.5億円へ20億円上積みになっているそこへの無理が見える。筑後市経営の右肩あがりの政策、新規の国や県事業の要望と企業誘致など経済的基盤づくりの涉外行為は全く見られない。筑後市の伸び代は多方面にある。筑後市は単年度で3～5億円の新規事業可能な財政状況であった。税は税を生むところに使い、守るべき本来の市民サービスを維持した時間計画で取り組んでほしい。 庁舎建設投資では税は生まれない。税は市民からの預り金である律して使っていたきたい。	庁舎の建替えは、鉄筋コンクリートの耐用年数を鑑みて、通常50年に1度行われています。筑後市の本庁舎は昭和31年に建設され、築後60年で基本構想に取り掛かり、その後、議会との協議で財政面を理由に凍結となりました。 平成30年度に耐震補強工事を行ったものの、震度6以上の地震が起きた場合は、来庁された市民や職員の人命は保障されず、行政機能は東庁舎をメインとすることが想定されています。このことは、地震の際の被災者支援に大きく影響しますので、一刻も早く庁舎を建設することが、市民の安心・安全につながると考えます。

71	取り組み方	市庁舎建設は市民にとって最重要な事項です。市民はあまり詳細(基本的な事)を知らないなので、もっといいに説明をして事業を進めるべきと考えます。老朽化の現状は理解していますが、拙速に進めることは将来に大きな禍根を残すのではないのでしょうか。	基本構想時の平成28年度から庁舎建設に関する協議・検討を「市民アンケート」、「市民ワークショップ」、「団体ヒアリング」、有識者をはじめとする多方面の委員からご意見を頂くための「筑後市庁舎のあり方検討推進会議」、加えて、市議会の「庁舎建設特別委員会」といった様々な手法を用いて民意を吸い上げ、反映して、限りなく基本計画に近い精度の基本構想を策定しています。 建設地についても、当時から協議・検討を重ね、4候補地の中でも現敷地が再度優位であるという検討資料を用いて、2候補地まで絞ったところで基本構想が策定となっています。 その後、約7年のブランクを経て、見直しをかけた市の方針を、まずは、令和6年6月の全員協議会で説明したところです。その後、「市民アンケート」「筑後市庁舎のあり方検討推進会議」「庁舎建設特別委員会」で協議・検討を行い、また、広報11月号、1月号、2月号、3月号での周知、プレスリリースなど実施。市のホームページには、筑後市庁舎のあり方検討推進会議での協議内容や、市民説明会の内容の動画など、庁舎建設に関する情報を掲載し、庁舎建設事業の進捗を市民の皆さまへの周知を行いました。そして、更には、市民の意見を伺うため、各校区コミュニティ協議会(古島校区除く)への説明、パブリックコメント及び市民説明会を実施したところです。 今後とも、議会や市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら庁舎建設に取り組みます。
72	取り組み方	ちくご市議会だより第80号第10頁の宇野議員と市長とのやりとりを読んで思ったこと。市長の「議会への説明、周知を行って説明責任を果たし…」「議会に対して提案し説明していく…」とあるが、読む限りにおいて市民の代表である議員に説明するだけで納得が得られるようにとの文言がないのは、議会が議論をする場になってないように思われる。もっと色々な段階に置いて議論をつくしてもらいたい。幅広く市民がわかるように何度でも広報することが大事だと思います。	同上
73	取り組み方	市長単独の考えだけではなく、市民の支持を受け入れてほしい	同上
74	取り組み方	現在の庁舎は老朽化が進み建て替えは必要だと思われまます。ただ、庁舎は自治体の固有財産であるため、国・県の財政支援は期待できず全額が市税納税者の負担になるので、特定の人だけで進めるのではなく、住民の十分なコンセンサスが必要だと思われまます。今年には市長選挙の年でもあるので、選挙の争点として市民の判断を仰いでからでも遅くはないと思われまます。	同上
75	取り組み方	2ページ中段 基本計画(案)は平成29年策定の「庁舎のあり方基本構想を踏まえながら、と述べているがどうして、何が「あり方基本構想を踏まえているのか基本構想無視の暴挙だ	基本構想で設定した基本理念・基本方針をもとに、次の事を主に基本計画では進めています。 ○基本構想から継続して協議・検討し、基本計画で決めることとして ・建設する場所(建設地の選定) ・事業手法(発注方式) ○基本構想から見直すこととして ・庁舎の規模 ・概算事業費 ・事業スケジュール ○基本構想から現在までに変化した社会情勢を考慮して新たに盛り込むこととして ・感染症対策 ・DX(デジタル・トランスフォーメーション)化 ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化 ・働き方改革

76	取り組み方	説明会では50年先まで考えての計画である旨述べられましたが、それは庁舎という建物自体のなしであって、市全体のまちづくりの将来構想という視点が欠落していると思われました。基本構想から相当時間も経過し、その間の社会・経済状況も変化しており、再考も必要ではないかと思われます。	同上
77	取り組み方	広報2月号、P7の下段「建設する場所」と「事業手法」によると第6回会議で「承認」されたとある。誰が提案して誰が承認したのかよくわからない。その承認を基にP6の事業スケジュールに進んでいくのだろうか。アンケートのまとめ等を広報したりして、市民の意識向上に努めてほしい。完成してから「みんなの市庁舎」と感じられるように。	有識者や各種団体の代表者で構成する「筑後市庁舎のあり方検討推進会議」に対し、筑後市の考え方を提案し、その委員の皆さまから承認していただきました。また、市民アンケート結果の一部は、令和6年の広報11月号に掲載しております。また、ホームページには、市民アンケート結果や、市民説明会の内容動画を掲載しています。今後も、市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら庁舎建設に取り組みます。
78	取り組み方	①建設に対しては積極的に進めてほしい。	①建設に対して積極的に進めます。
79	駐車場	駐車場が狭いので、消防署を別のとこにし、駐車場にはどうでしょうか。消防署やサンコアも古いとおもいます。一緒に建て替えては？	新庁舎を高層にすることで、来客用駐車場は、今よりも広くなります。消防署やサンコアの建て替えについては、今後検討します。
80	駐車場	駐車場の確保は。	工事中は、本庁舎正面と東庁舎の北側の駐車場、一部は現在職員も停めておりますが、その部分を来客用駐車場として開放します。職員駐車場をとって足りない分は、近隣含めて十分検討していきます。また、工事が終われば、現駐車場より広くなります。現在の来庁者駐車場は134台であり、建設後の来庁者駐車場は、170台を確保する予定です。これは、新庁舎建設時点では、必要となる台数となります。今後は、人口減やDX化により、駐車場の必要台数は減っていくと思われます。
81	駐車場	身障者対応の駐車場について、なるべく1ヶ所に集約し屋根付きの全天候型対応で、そのまま庁舎内に入れるよう動線をしっかり確保してもらいたいのと、車を止められる台数も10台から15台程度は欲しい。DX化に伴う対応としては、様々な障がい者が庁舎を訪れた際に不便さを感じぬよう一人配置するなど配慮して欲しい。	現在、まごころ駐車場が5台分(うち屋根付き3台)、車いす用駐車場が4台分あり、それぞれ、本庁舎、東庁舎、サンコアの建物の近く設けて一定の動線を確保しています。新庁舎建設後の配置を検討し、更なる充実を図ります。
82	駐車場	今の駐車スペースに建てた場合、来庁者駐車スペースをどう確保するのか問題があると思います。	駐車場に関しては、現在の来庁者駐車場は134台であり、建設後の来庁者駐車場は、170台を確保する予定です。これは、新庁舎建設時点では、必要となる台数となります。今後は、人口減やDX化により、駐車場の必要台数は減っていくと思われます。
83	駐車場	P16 来客用駐車場は170台必要となっています。窓口30分、その他60分とは長く、また人数も多く見積もり過ぎと思われます。人口動態が説明されていませんが、人口は減っていくし、今の40歳代以降は、パソコンも使いこなしますので、来庁せずに各種証明はとることになると思います。質問についてもある程度のことは、メールをすれば、AIが答えてくれるようになると思います。Amazonや楽天等のように。	同上
84	209号線 渋滞対策	現在地の問題として、209号線の交通混雑、	209号の渋滞については、交通渋滞軽減のために、庁舎敷地側にバスベイを設置することを検討します。
85	209号線 渋滞対策	まず、今の場所は反対です。交通量の多い209からはずれた方が良い。道路事状が悪い！	同上
86	209号線 渋滞対策	R209付近は交通量が多いため、反対	同上
87	209号線 渋滞対策	交通量の少ない場所が良い 今の場所はダメ	同上

88	財源 コスト	P14建設基金の積立金にこれから日銀政策金利が上げられる見込みなのに、運用益が計上されていないのは不自然です。いかがお考えですか？	庁舎建設基金は適切な運用を行っており、運用益については、庁舎建設基金として積み立てております。全体事業費に比べれば少額であるため明記しておりません。
89	財源 コスト	庁舎建設は喫緊の課題と考えます。積立金が36億円となったので、庁舎建設に踏み切ります。建設費は85億円を見込みます。差額の約50億円は借金、起債で手当てする考えが示されました。なお、返済は30年を予定しますとの回答。では、一世帯当たり年間何万円の負担となるでしょうか。	概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくこととなります。一世帯当たり年間の負担額は、20年～30年の返済期間で、利率、人口などの変動的要素が影響するためお答えいたしかねます。
90	財源 コスト	14ページの事業費について市民の一番関心がある項目だと思います。現時点で84.5億円今後変動があるとの説明がありました。運用開始が令和12年度完了予定の説明がありました。今の消費物価上昇等予測すると、100億円は優に超えると予測され、市債等借金を頼る返済になると予想されます。支払いは筑後市民の負債になるので市民の知る権利があると思います。依って支払い金額、開始時期と支払い期間、市民一人あたりの負担金、今後必ず訪れる人口減少に伴う負担金の増加等解かりやすく説明をお願い致します。この事業の評価は庁舎が完成したら終わりではありません。評価の始まりで支払いが完済終了時期迄長期に渡り評価されますので宜しくお願い致します。	概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくこととなります。このことは、今現在での物価に対する計画です。今後の物価高騰については、予測が難しく、概算事業費については現時点での価格でしか提示いたしかねます。
91	財源 コスト	年金暮らしのため、税金アップが日常生活において影響を及ぼすので、P14の概算事業費で説明提示してある金額よりも、おおよそどれくらいの金額アップを考えているのか伺いたい。	物価高騰については、予測が難しく、概算事業費については現時点での価格でしか提示いたしかねます。
92	財源 コスト	起債(地方債)についての一般事業債充当率75%とは？	充当率75%とは、国が地方債を財源とすることができると定める事業のうち75%まで起債できるということです。
93	財源 コスト	基金等について、庁舎建設基金と一般財源の内訳は？建設基金はR8年の目標通りの29億円で残り14.5億円が一般財源でR9以降の市予算から支出されると思われるが詳しく知りたい。一般事業債についてであるが、償還年数とか、借入先とかを知りたい。住民参加型市場公募地方債での起債を検討されてはいかがか。	概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくこととなります。住民参加型市場公募地方債は事業費が大きく公共債での資金調達は考えておりません。今後、該当が見込まれる起債等がある場合は、積極的に活用を図ります。
94	財源 コスト	P14事業費の件建設基金積立は40億とあるが、見積額85億円の返済計画がないなぜ?2020年の国調でも筑後市の人口は減少すると発表されている、その中でも2040年、2050年の問題が起きるが建設返済計画が見えない。建設費のコストを下げる、面積縮小を考えるべき。	概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくこととなります。このことは、今現在での物価に対する計画です。今後の物価高騰については、予測が難しく、概算事業費については現時点での価格でしか提示いたしかねます。
95	財源 コスト	公共施設の老朽化(小学校・中学校、上下水道等)の対策等を考えると高額な建設費では住民の負担が大きくなる。(高期高齢者医療費負担も増加(昨年)、固定資産税も増加している。)住民税が増加してくると筑後市に住民は移動してこなくなる。	市が抱える施設の更新等を検討している「筑後市公共施設等総合管理計画」をもとに、負担の平準化に努めて参ります。
96	財源 コスト	将来、人口減少が考えられると思われるので十分に考慮された上で基本計画(予算)は練って頂きたい。	基本計画では、現段階での人口、職員数、議員数に基づいて、必要延床面積約9,500㎡としております。そのうち約1,500㎡を東庁舎やサンコアを利用し、約8,000㎡を新庁舎として建設する計画です。当面は東庁舎、サンコアを執務室として継続利用していきますが、人口減、DX化により、すべての業務を新庁舎(約8,000㎡)でまかなえるのではないかと想定しております。このように、将来を見込んだところで、事業費を84.5億円と試算しています。

97	財源 コスト	<p>今までの過去の所は簡単に、庁舎建築に関する事業費面を重点にもっと詳しく、市民にわかりやすく文章に記載し説明すべきです。なぜなら建設費の高騰は市民生活におよぼす影響が大だからです。建築計画がこの時期までずれ込んだ原因は資金調達の主と考えるが、筑後市は合併などしていないので、国からの援助もないことはわかっていたのですから、この間筑後市としてやるべき事業(企業誘致etc.)を積極的にやっているべきでした。借入金で補てんは安易な考えです。今後はここまでのばしたのなら、住民の意見を聞くことを根気よく続けて、議会と真意に向き合って正案を作してほしいと望みます。行政は一概に一度計画したことは変えない特徴があります。柔軟な頭でより良い庁舎を作ることが将来の筑後市のためになることと強く思います。金銭面のガラス張りの報告を特にお願します。</p>	<p>概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくことになります。今後、該当が見込まれる起債等があれば、積極的に活用を図ります。今後とも、市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら庁舎建設に取り組みます。</p>
98	財源 コスト	<p>結論ありきの市民説明会に参加された方は、ほとんど後期高齢者でした。若い方は関係者としか見えませんでした。(動員された方?) 多くの税金を投資して、行われている事業に関心を持ってない住民が多く、おまかせ気分です。R6末積立額、7億円急に増えてます。その後は1億円です。今後住民が負担していく税はあるのでしょうか。筑後市破綻等とならない様将来の見通しは、住民サービス等は大丈夫なのでしょうか、高齢者としてはこれから先が心配です。庶民派精一杯生活してます。</p>	<p>概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくことになります。庁舎建設によって新たに税を納めていただくことはありません。今後、住民サービスの質が低下しないように、財政的バランスをとりながら、進めます。</p>
99	財源 コスト	<p>新庁舎建設に伴って、どの程度、市民の負担が増えるのでしょうか。</p>	<p>概算事業費84.5億円のうち、約40億円を庁舎建設基金として見込んでおり、約3.5億円を一般財源、残り約41億円を一般事業債とすることで計画しています。この残り約41億円を20年～30年かけて返済していくことになります。今後、住民サービスの質が低下しないように、財政的バランスをとりながら、進めます。</p>
100	財源 コスト	<p>・市庁舎の建設の必要性は理解できるが、庁舎建設に伴う、財源不足により、他の事業(福祉文化的なもの)の縮小となると困るので、安定した財源の確保に努めてほしい。</p>	<p>市が抱える施設の更新等を検討している「筑後市公共施設等総合管理計画」をもとに、負担の平準化に努めます。</p>
101	庁舎民活	<p>1. 市庁舎の建設は基金の積み立てもされています。PFI等数案が検討されていますが、30年後、50年後もお金を生み続ける建物であり、建設・維持管理についてインシャルコスト・ランニングコストを抑えた計画が望ましいと考えます。また、基金は市の魅力を高めるための資金として運用して頂きたいと思えます。</p> <p>1-1.市庁舎の機能はオフィスビルとして建設し庁舎の一部を貸オフィスとし収入を得る。</p> <p>1-2.市庁舎は高層住宅を備え、上層階は70戸～100戸の賃貸住宅とし収入を得る。</p> <p>1-3.賃貸住宅は福岡市に勤務する子育て世代公務員専用住宅とし、各省庁の職員、2名/戸の小中高生により400人の生徒を確保する。</p> <p>最終的には1000世帯から2000世帯の住宅を確保するが、これらには近隣自治体の特に山間部から暮らしやすい当市への転入を見込み、福岡市などに勤務する人のベッドタウン・子育てタウンの機能を充実させる。市の人口6万人、子育て世帯、健康高齢者の居住を誘導。</p> <p>1-4.入居する主婦層100名を臨時雇用に迎え世帯収入を増やす、市内の各行政区役員を委託することで行政区の役員不足を解消すると共に行政区運営の簡素化や備品情報の共有化などで自治会のコンパクト化や統合、経費削減が期待できる。</p>	<p>高層ビルの庁舎を現敷地、または羽犬塚駅に建設して、庁舎機能の他に、貸しオフィス、賃貸住宅として収入を得てはどうかのご意見ですが、PFIを手がける民間の専門事業者へのヒアリングの中で、筑後市の人口規模では、非常に難しいとのご意見をいただきました。今後の基本設計では市民交流スペースとしてカフェなどを検討します。</p>

102	庁舎民活	<p>筑後市庁舎建設基本計画(素案)については、将来の筑後市政の拠点として、環境にもやさしい効率的で機能的な庁舎建設を計画していただきたいと思います。</p> <p>さて、庁舎建設の事業費についてですが、総事業費が85億円で庁舎建設基金が約40億円、残りは起債を予定しているとのことですが、提言としてUR都市機構や民間マンション会社などと連携して、庁舎建設を計画することで、庁舎建設事業費の軽減を図ることが出来るのではないかと考えます。</p> <p>例えば、10階建ての内1階から5階までを庁舎として使用し、その上の階を住宅としたらどうかと思います。また、最上階には、展望ラウンジやホールなどを計画していただきたいと思います。</p>	<p>建物を高層にし、下層を庁舎として使用し、その上の階を住宅としたらどうかというご意見ですが、PFIを手がける民間の専門事業者へのヒアリングの中で、筑後市の人口規模では、非常に難しいとのことをご意見をいただきました。今後の基本設計では市民交流スペースとしてカフェなどを検討します。</p>
103	庁舎規模	<p>筑後市庁舎建設に関してコンパクトシティとコンパクト自治行政</p> <p>現在を前提としたプランは、15年後には役に立たない。</p> <p>箱物は予算を抑えてコンパクトにし将来のインフラ整備に回す。</p> <p>ハードウェアの前にソフトウェアのプランを</p> <p>ヒューマン・コミュニケーションの拡充。</p> <p>庁舎内の人員は激減する。部署の再編と統廃合。</p> <p>データ業務はAiiに ヒューマンインタフェースの変化</p> <p>現在の自治体業務の多くは10年後にはAiiに代わるであろう。</p> <p>Aiiによって職員数の減少も十分補える。余剰人員はよりヒューマンな業務に。</p> <p>これからの自治行政の役割 本庁舎の役割を取捨選択し分散化</p> <p>市庁舎の役割を厳選し、コンパクト化する。</p> <p>市民の交流やコミュニケーションの場は、他の施設で行える。</p>	<p>基本計画では、現段階での人口、職員数、議員数に基づいて、必要延床面積約9,500㎡としています。そのうち約1,500㎡を東庁舎やサンコアを利用し、約8,000㎡を新庁舎として建設する計画です。</p> <p>当面は、東庁舎、サンコアを執務室として継続利用しますが、人口減、DX化により、すべての業務を新庁舎(約8,000㎡)でまかなえるのではないかと想定しています。</p>
104	庁舎規模	<p>東別館、サンコアの建替も30年後には考えられませんが、人口減少、DX、ZEB等を考えると職員減が見込まれ、30年後の建替は考えていないとの回答でした。現行計画素案では、人口減、職員数の減はどの程度考慮されているのでしょうか。</p>	同上
105	庁舎規模	<p>13ページの新庁舎の床面積8,000㎡の説明で聞く方は実感がわかりません。現庁舎が何㎡で何パーセント増の何㎡と比較出来る説明があれば分かり易い。</p>	<p>各部署は各建物に分散しており、サンコアについては中央公民館としての用途も持ちつつ、一部、執務室として利用し、また、庁舎の会議室等として共有したりと、庁舎機能面積として安易に比較できない状況です。今後、基本設計の段階でお示しできると思います。</p>
106	庁舎規模	<p>29ページ「新庁舎の規模」の中で、想定される職員を397人としているが、市のホームページを見ると令和5年4月1日現在の職員数は、330人。さらに、今後の市の人口の減少やDX化の進展により、職員数は減少する。新庁舎規模算定の基本的要素である職員数397人を、最低でも供用開始予定の令和11年度以降を想定して詳細に見直し、下方修正すべきである。その結果として庁舎に必要な規模9,500㎡2.新庁舎の規模8,000㎡が縮小され、建設工事費の縮減になる。委託業者の案を鵜呑みするのではなく、市民や市議会の意見を踏まえて庁内で十分検討し、修正すべきである。</p>	<p>令和5年4月1日現在職員数330人とは、一般会計から給料を支出する職員数であり、特別会計(国民健康保険特別会計など)から支出する職員や会計年度任用職員は含まれていません。397人は会計年度任用職員を含む庁舎への配属が想定される職員数となります。</p>
107	庁舎規模	<p>庁舎建設基本計画第5章(P29～35)に総務省等による庁舎の想定規模が記載されていますが、現在の筑後市における庁舎に組み込むことができる公共施設はどのようなものがあるのかを明らかにして、その延床面積、耐震状況等、現状を第2章に明記したうえで、新庁舎の規模を設定する必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>新庁舎はコンパクトな庁舎を目指していますので、庁舎に取り組み公共施設は、東庁舎の利用を今後検討して参ります。現計画では、必要延床面積約9,500㎡とし、そのうち約1,500㎡を東庁舎やサンコアを利用し、約8,000㎡を新庁舎として建設する予定です。延床面積約3,000㎡の東庁舎を1,500㎡庁舎として使ったとしても、1,500㎡分のスペースが空きますので、公共施設として利用できないかを今後検討します。</p>

108	庁舎規模	教育研究所(スマイル)や総合福祉センターは新庁舎に組み込まれないのでしょうか。新庁舎建物の適正規模を設定される際にどうして明記されないのでしょうか。	同上
109	庁舎規模	新庁舎を建設することで、子育て支援センター(おひさまハウス)は新庁舎に組み込まれないのでしょうか。	同上
110	防災対策	老朽化して安全と安心、防災のためには建て替えは必要とおもいます。	本庁舎は築後約70年が経過しており、老朽化によりクラック(ひび割れ)や床材・天井材の剥離など安全性の面で多くの課題が生じています。また、本庁舎は非常用発電設備がなく、耐震性においても震度6以上の大規模地震発生時には建物の甚大なダメージが想定されており、防災拠点としての機能も不足しています。市民の皆様の安全・安心のためにも、防災拠点となる安全な庁舎を一刻も早く建設しなければならないと考えます。
111	防災対策	冒頭市長より話があったが、築68年経つ現庁舎では、市民、職員の安全面に関して不安が残る。何かあってからでは遅い。	今後とも、市民の皆さまに事業の進捗状況をお伝えするとともに、できる限りご意見を伺いながら、早急に建設できるように取り組みます。
112	利便性	高齢化になるので、コミュニティバスの徹底、巡回バス	現在、実証運行中の羽犬塚駅周辺循環バスについては、本格運行を目指して取り組んでいきます。また、市内9地区で運行中のコミュニティ自動車は、今後も運行を継続していけるように地域と協働し取り組みます。
113	利便性	来庁者駐車場に関して、オンラインで可能な申請手続きが増えれば車で来る人が減る。高齢者にやさしい駐車場としてほしい。高齢者優先で駐車できるよう(表示等)にしたり、循環バスが乗り入れできるようにして、高齢者へ公共交通機関の利用を促し、高齢者の交通事故軽減につなげたら。循環バスはよらん野もルートにあるので、買い物弱者対策や地産地消につながるのでは。循環バスは、待機場を用意することで待ち時間をつくり、利用者に時間的余裕がもてるようにしては如何か。	新庁舎が建設されれば、今より駐車場にゆとりができ、高齢者にやさしい駐車場となると思います。また、実証運行中の羽犬塚駅周辺循環バスについては、本格運行を目指して取り組んでいますが、利用者にとって、より快適になるように、路線バスや循環バス、コミュニティ自動車、タクシーなどと連携しながら、公共交通機関での来庁ができるような庁舎を検討します。
114	利便性	庁舎建設基本計画素案P42に計画地である現庁舎敷地(候補地A)の交通アクセス・利便性を記載されていますが、新庁舎においても、羽犬塚駅前循環バスによって市役所敷地内にバスが停車するようになるのでしょうか。	同上
115	設備	見た目から老朽化を感じます。入り口の自動ドアから古いと思います。全体的に庁舎が暗い(冷たい感じ)ので明るい庁舎にしたらどうでしょうか。	建物が古く、照明も薄暗いため、庁舎全体の雰囲気は冷たく感じることは課題の一つとして認識しています。新庁舎では、照明のLED化や自然光利用による明るさの確保など内部を明るい雰囲気のイメージとし、外部は植栽など緑と潤いのある空間を計画します。
116	設備	多目的トイレには、ぜひ大人も使用出来る簡易ベッドの設置を、お願いします。身体状況によっては、車椅子から直接トイレに座ることが出来ない場合もあります。ベッドがあると、ベッドに横になり、衣服を整えたりオムツが交換出来ます。排泄後の清潔保持が本人も介護者にも負担が少なく安心安全に行えるのはとても大切なことです。外出先では、トイレにベッドが設置されているかいつも確認しますが、比較的新しい建物でも、設置されているところはまだまだ少ないです。JRの駅や高速道路のサービスエリアの多目的トイレには簡易ベッドが設置されているので大変助かっています。新庁舎には、是非、排泄が安全安心に行えるように、多目的トイレに簡易ベッドを設置して下さい。よろしくお願いします。	6つの基本方針のうちの1つである「誰もが安心して利用できる庁舎」として、ユニバーサルデザインを目指しており、障がいやジェンダーといった方々にも配慮したトイレを検討します。

117	連絡庇	市役所に行く、介護保険棟東庁舎に行く時に雨が降っていたら濡れる	新庁舎と東庁舎やサンコアと結ぶ庇を計画しています。
118	憩いの庁舎	<p>筑後市庁舎計画案についての希望です。 まず、スッキリ清潔感ある庁舎、市民の皆様が安心できる庁舎、木漏れ日が、差し癒しのある庁舎等色々ありますが、ありませんが、楽しみに待ちたいと思います。 建設担当の皆様御尽力ありがとうございます。</p>	<p>基本構想で掲げた3つの基本理念であります「市民を守り、支える人にやさしい庁舎づくり」、「機能的で使いやすい、効率的な庁舎づくり」、「人がつながり、まちづくりを牽引する庁舎づくり」を目指し、市民の皆さまの希望に添うように進めます。</p>
119	憩いの庁舎	<p>2. 庁舎を生かす外部環境の整備</p> <p>子育ての活性化に日本初・世界初の企画を立案し知名度・好感度を上げる</p> <p>2-1登山家の育成</p> <p>筑後市には山が無いので、市庁舎を1つの山としてデザインしてビル登山を楽しむ。</p> <p>登頂回数を富士山などの登山や標高に換算してギネスブックに申請する。</p> <p>また、ボルダリング施設を備え挑戦できる庁舎には市民に限らず各地から人が集まり、街の活気につながる。</p> <p>2-2ダイバーの育成</p> <p>筑後市には海が無いので、市内に水深5m程度のプールを備えたダイビングスクールを誘致し、18歳までにスキューバダイビングのライセンス取得を推奨する。これは世界初の子育てプランとなり、将来多くの海洋技術者を育成したり「筑後市に本社を置く海洋事業の起業」につながる可能性がある。</p> <p>また、ライセンス取得後は、福岡市の志賀島などで手軽にかつ安全にダイビングを楽しむことができるようになり生活の質が向上する。</p> <p>さらに、熊本県天草市や佐賀県唐津市などの漁協と協定を作り相互メリットが生まれる企画の充実を図る。</p> <p>2-3小学生社長の誕生</p> <p>小学生による農業生産法人を設立、農業高校や地元農家等の指導によりビニールハウス等で生産した野菜や果実を直売所で販売し収入を得る。農業の技術や環境保全だけでなく、収支を明確にすることで経営者としての知識習得。農業者の減少は専業農家の経営環境の厳しさのためであるが、「食料自給や国土の保全」の観点から重要な経験となる。</p> <p>将来、就農を検討するときこのような経験が生かされ、専業や兼業農家が増え緑豊かな「豊穡の地」となる。</p> <p>また、ヤギ牧場を事業化し市内外の各自治体や行政区に貸し出し除草を行う。草刈り作業の高齢化や人員不足から管理地の縮小が懸念されているが、除草剤散布よりも街の活性化につながる。</p>	<p>6つの基本方針のうちの1つである「誰もが安心して利用できる庁舎」として、今後は、子育て世代が安心して過ごせる設備を検討します。また、外部は公共施設として市民が利用できる広場や植栽など緑と潤いのある空間を提供することで、地域住民の健康と福祉に貢献できるように検討します。</p>

120	憩いの庁舎	筑後市庁舎計画案についての希望です。 まず、スッキリ清潔感ある庁舎、市民の皆様が安心できる庁舎、木漏れ日が、差し癒しのある庁舎等色々ありますが、ありませんが、楽しみに待ちたいと思います。 建設担当の皆様御尽力ありがとうございます。	基本構想で掲げた3つの基本理念であります「市民を守り、支える人にやさしい庁舎づくり」、「機能的で使いやすい、効率的な庁舎づくり」、「人がつながり、まちづくりを牽引する庁舎づくり」を目指し、市民の皆さまの希望に添うように進めます。
121	憩いの庁舎	筑後市には、子どもや大人がゆっくりと一緒に過ごせる憩いの場がありません。 佐賀県武雄市の「武雄市図書館」や、鹿児島県薩摩川内市の「センノオト」のような、親子で本を読みながらリラックスできる、施設を検討して頂きたい。 計画書を拝見すると、市民交流棟のことが記載されていましたが、ぜひ今回の新庁舎で上記のような施設を参考に検討して頂ければと思います。	図書館を活用しながら、今回のご意見を参考に「ふれあい・交流の生まれる開かれた庁舎」として ・多目的に利用できる市民交流スペース(市民の文化活動、展示、簡易なイベントなど)を設けます。 ・市民や学生、ビジネスなどで訪れた人が、待合せや勉強、打合せなどに気軽に利用できるラウンジスペースを設け、Wi-Fiも計画します。 ・飲食スペース(例:福祉団体運営によるカフェ)や屋外テラスなど、市民がゆったりと過ごせる空間を計画します。
122	憩いの庁舎	新庁舎には、市民が利用できるスペースとして、幼児から高齢者まで、どのような障害をもつ市民であっても安心して過ごせる居場所を設けられるよう要望します。	ユニバーサルデザインとして ・移動空間として、エレベーターの設置、段差の解消、通路の幅や歩きやすさの工夫、扉など出入口に配慮します。 ・車いす利用者も使いやすいカウンターや、子育て世代が安心して過ごせるキッズスペース・授乳室、障がいやジェンダーに配慮したトイレなどを計画します。 ・分かりやすい総合案内を設けて人的対応を含めて来庁者への案内を充実させ、誘導案内サインを計画します。(視覚・音声による情報案内機能を含む) ・障がいの方や子ども連れの方が安心して利用できる駐車スペースを設けます。(余裕のある幅、雨対策)
123	市民交流	イベントフロアとして簡易ステージがあれば市民の活動発表会等も開催できるため市民交流に活用できると思います。踊り、民謡、お誂い等の活動発表の場を検討して欲しい。	「まちづくりの拠点となる機能」として、市民交流機能や市民参画機能などを中心に、庁舎に気軽に訪れ、利用しやすい空間や人が集まる仕掛けとして、イベントを開催できるような屋外スペースについて検討します。
124	市民交流	新庁舎内に売店や食堂はできるのでしょうか？ (意見ではなく質問です。ぜひ、お答えいただければ幸いです。)	市民アンケートにおいても、売店や食堂を期待されるご意見が多く寄せられましたので、基本計画書(パブコム用P29)に「飲食スペースや屋外テラスなど、市民がゆったりと過ごせる空間を計画します。」と明記しています。具体的にどのような飲食スペースが良いかは、次の設計段階で検討します。
125	市民交流	市民が集う場所や庁舎にしてほしい。	市民アンケートにおいても、市民交流スペースを期待されるご意見が多く寄せられましたので、基本計画書(パブコム用P29)に「多目的に利用できる市民交流スペースを設けます」と明記しています。具体的にどのような市民交流スペースが良いかは、次の設計段階で検討します。
126	DX化	デジタル庁 自治体窓口DX「書かないワンストップ窓口」 総務省 「住民視点の窓口サービスの実現」を参考としております。 P24 第4章3.(1)に関して おおむね60歳以下の方々はスマホ・タブレットの利用に慣れており、来庁するよりオンラインで出来る事はオンラインで済ませる事を望む。出来るだけ多くの申請・手続きをオンラインで出来るようすれば、窓口業務の軽減につながる。さまざまな行政手続きをオンライン申請可能にすることで、そもそも窓口に向かなくても手続きができるようになり、住民の利便性は向上し、さらに、デジタル化が進めば窓口での業務が減り、地方自治体職員の負担も軽減されるのでは。 来庁する方々は逆にスマホ・タブレットの利用に不慣れで、スマホ・タブレットを使っている申請手続きを進めればトラブルが多発するのでは。今まで通りに紙に記入したほうが、職員の方々にとっても不慣れな人に操作をアドバイスするよりいいのでは。	DXの推進につきましては、筑後市DX推進計画に基づき、行政のデジタル化と地域のデジタル化の二本柱で推進しており、これまで、国が進める戸籍情報連携システムの構築やマイナンバー法に基づく自治体間の情報連携への対応に加え、市独自で、住民票等のコンビニ交付開始やコンビニ収納の拡大、行政手続のオンライン化、書かない窓口、行かない窓口、キャッシュレス決済など進めました。 今後につきましても、「市民の利便性の向上」、「行政事務の効率化」のため、積極的に検討します。 一方、オンラインは不安で、市役所に来て職員と相談しながらしっかりと手続を進めたいという市民もおられることを念頭に、窓口手続の簡素化や職員による相談が必要なお客さまには専用スペースを設ける等、「市民にやさしい窓口サービス」の構築を目指したいと考えています。

127	DX化	DX化といっているが、高齢者等の研修会の対応が出来ていない(例えばQRコードといっても高齢者は知っている人は少数)	デジタルデバйдを解消するための取組として、高齢者向けスマホ教室やスマホサポーター養成講座を実施しております。スマホサポーターの方には、市や公民館等が主催をしますスマホ講座等のアシスタントとして、受講者へのサポート役として活動いただきました。日常的にも地域やサークルなど、仲間同士で教え合うなどの効果も期待をしています。
128	働き方	執務面積(職員1人当たりの面積)の時代の変化をどのように考えているのか？又、机の配置は現在のあり方を一部分変える必要があるのではないか？	フリーアドレスやABW*の考え方にに基づき、職員が快適で効率的に働ける職場環境を今後検討しコンパクトな執務室を整備します。 *ABW(Activity Based Working): 目的や業務内容に合わせて、自由に働く場所や時間を選択できる働き方
129	働き方	フリーアドレスの採用とあるが、第4章4.(1)ではユニバーサルプラン、また第5章5.(1)ではABWとある。どのような執務空間・執務環境を調えようとしているかがわからない。第5章6.(1)に窓口の考え方があり、ワンストップ・ワンスオンリーサービスにふれているが、窓口サービスではたしてフリーアドレスやABWで窓口サービスが機能するのか？グループ(課)ごとに配置し、グループ内のレイアウトもある程度の期間は席を変えないほうが日々スムーズな業務開始が出来るのではないか。	市役所の各部署は各々が異なった内容の仕事をしているので、新庁舎の執務室は、固定席、フリーアドレス、ABWなど、どの働き方が適しているを各部署ごとに今後検討します。
130	働き方	窓口は、銀行のように申請・手続きを受け付けるカウンター(第一線)と、受け付けた書類を処理する書類の不備がなければ後方スタッフ(第二線)に分ける。カウンターは書類の不備がないかチェックし、後方スタッフへ書類を渡す。後方スタッフはデータ化し関係部署にリアルタイムで情報提供し、関係部署が対応する。手続き完了すれば、カウンターの職員が市民へ申請・手続きがどのように受け付けられたかを説明し完了、とか。転出転入・出産・死亡手続き等は可能ではないか。地域支援包括センター・農業委員会等はクイックカウンターと相談カウンターを併設するとか、それぞれの職務に合わせた窓口対応、執務環境が必要ではないか。総合窓口型もあるが、窓口対応の職員の負荷が大きくなるのでは。一線のカウンター対応職員はローテーションとし、固定せず負荷分散ができる。トラブルが発生しても後方スタッフにサポートを求めやすいのでは。	同上
131	働き方	二線の後方エリアはユニバーサルレイアウトが望ましいと思う。レイアウトを固定し、グループごともしくは部単位でゾーンを決める。レイアウトを固定すれば、組織変更に伴う什器移動の必要がなく、什器移動しなければ配線変更工事の必要もなく、配線変更工事の必要がなければOAフロアの必要もない。	同上
132	働き方	市民サービスへの対応と職員の働き方改革で...10頁2項②1~3行、1頁2項12~14行、14頁2項⑦ まず現在の庁舎における市民の動線を改善する市民サービスと職員の働き方改革は、市民に対する動線の改善サービスより市民の生活環境づくりの中で各地各種の要望を満足すべき実質の市民サービスが最優先されるべきであり、そこへの職員の志向対応が大いに欠けているのが現状である。 行政サービスの最たる目的は市民の要望に対する職員の対応と意識が改善されなければどんな執務面での効率化を建物で求めようと実態は変わらないと思います。まずは職員の意識の改革が完了しなければ器は変わっても中味が変わらなければ筑後市の発展はあり得ません。職員の2割しか市民に勝る人材は存在しない現状です。職員は市民や地域の諸案件の要望に対して、その課題に対してしっかりと行政言葉で時間的対応と可能な手法を説明すべきであり、筑後市にはその統一した理論が見当たらない。職員の働き方改革は器によって得るものではなく職員の職務に対する意識改革によって成し得るものでもあり、その改善が完了したのち庁舎建設に係ればよい、そうなった時に市民は建設にかかる費用を償還までの長期間に一般財源からの支出を気持ち良く付与することが出来る。	現庁舎では、良質な市民サービスを提供する上で、多くの物理的な制約があります。今回の新庁舎建設は、職員の働き方の見直しや意識変革の良い契機になると捉えていますし、市民満足度の高い行政サービスに繋がるものと考えます。 いずれにしても、これまで同様、市民目線に立った職員の育成には力を入れて取り組みます。

133	ZEB化	市民説明会資料P19の太陽光発電設備について。建物の耐用年数が60年～70年に対して、太陽光発電設備はせいぜい20年程度なのに、廃棄物処理方法が確定しない設備を建てるのは反対です。アンモニア発電の方が処理方法が確定しているので設置の一考に付すと思います。	ZEB化の先端環境技術については、エネルギー消費量を削減するZEB Ready 以上の実現を見据え、費用対効果を十分に検証したうえで導入します。
134	議場	一般的に議長・議員の席は固定されているが、移動式にして、議会として利用しないときは、イベント・ホール会場として利用したらどうか。コストはかかるが、傍聴席は中二階とし、企業に貸し出し収入源にすることでコストを回収することも考えられるのでは。什器も重厚な家具でなくてもよいのでは。	議会棟については、今後、議員の方々の意見を踏まえながら検討します。
135	議場	議場の空間を現在の形式ではなく、面積を現在の半分にして欲しい。理由としては、今後少子化が見込まれ、議員定数も減ることになる。また、AIの利用により1人あたりの面積を減らすことができる。	同上
136	議場	P27 議会議事堂についてですが、書いてあるように多目的化が必要と思います。北海道の大空町のように、議事堂文化ホールと議事堂多目的ホールとして使えるようにしたいと思っています。この際、傍聴席を多めにとって、窓口に来た人がロビーで中継を見るのではなく、ちょっと除いていこうかと思うように、最上階ではなく、1階2階にあれば入りやすいと思います。また、多目的に使うとなれば、夜間の出入りが増えますので、外部からの出入り口と管理人室との関係も出てくると思います。議員の皆さんは赤絨毯とお思いいなるとは思いますが、飲み物がこぼれたりしますので、掃除のしやすい床がいいのではと思います。議会関係に年間何日使うかも、市民に知らせてほしいと思います。	同上
137	維持管理	設計の段階でランニングコストについての提案も加味しては。概算工事費にある建物工事費に沿って設計されるであろうから、出来上がった建物のランニングコストは設計の影響は大きいはずだ。第6章2.(2)に維持管理費に関して説明があるが、詳細な項目がなくよくわからない。ライフサイクルコストの単年額と累計額の表があり、中長期の修繕も加味されていると思うが、今後は物価上昇を加味した計画も必要ではないか。ファシリティマネジメントの手法を取り入れてみては。	今後、委託する設計者には、「新庁舎の維持・メンテナンス」も十分に考慮した建屋の設計を進めてもらう予定です。加えて、設計者には、詳細な「維持管理費用(LCC)計画書」の作成も委託する業務の1つと想定しており、それをもとに維持管理の予算化を考えています。 新庁舎の運用開始とともに、建屋の維持管理に関しては管理業者への外部委託の可能性もあるため、設計期間中および工事期間中に、ファシリティマネジメントを専門とする管理業者へのヒアリングを同時に行い、ライフサイクルコスト(LCC)の計画を精度の高いものにしていく予定です。
138	維持管理	新庁舎に限らず、十分な維持管理費をかけた適切なメンテナンスを行い、法定耐用年数を超えても安心して利用できる公共施設を整備されるよう要望します。特に学校施設の外壁塗装等、適切な維持管理を要望します。	庁舎の長寿命化を目指し、耐久性の高い建材や構造を採用します。また、定期的なメンテナンスを前提とした設計とし、建物の経年劣化を最小限に抑えます。これにより、建物全体の使用年数を延ばし、将来的な建替えや修繕のコスト削減を図るとともに、資源の無駄を減らします。建物の躯体と内装を明確に分離したスケルトン・インフィルの建物構成により、執務室のレイアウト変更や設備機器の更新が容易に行えることを基本とします。
139	市民説明会	市民のほとんどが現状を理解していない状況だと思います。4日間説明会が開催されましたが、日時的に無理があった様に感じます。	市民説明会の参加者に市民説明会に関するアンケートを実施したところ、開催日時について79%の方が「今のままで良い」との回答がありました。また、開催回数についても70%の方が「適当である」との回答がありました。
140	消防署建替	老朽化した本庁舎の建替えは必要と考えますが、消防庁舎も築後60年程経過しており老朽化が進んでいます。防災拠点としての機能は、本庁舎だけではなく、消防本部の活動が合わさって機能するものだと思います。消防署の役割「火災の予防、警戒、鎮圧及び救急業務、その他災害の防除及び災害による被害の軽減」を果たすことや有事の際の活動に関し、現状の消防庁舎では不安があります。本庁舎の建替えのみ優先すれば、消防施設が置き去りになります。予算的に難しいとは思いますが、最低限必要な機能に予算を絞って、本庁舎と同時に消防庁舎も整備すべきと考えます。	消防の建物も耐震補強を施したものの、老朽化が進んでおり、建て替えを検討する時期に来ていると思います。財政的なバランスを考えると、本庁舎の建て替えを実施した後に、消防署建て替えを検討した方が適切と判断したところです。

141	消防署建替	庁舎建設場所は現在地で良いと思うが、消防については別の場所に移した方が良いと思う(総合的に考えれば) 後は基本設計と詳細設計次第と考える。	消防署の建て替えについては、今後検討します。
142	図書館	P14関連、将来東庁舎、サンコア建物の老朽化に伴う建替費用も必要になるのではと質問しましたが、将来的には職員数減に伴い既存の東庁舎、サンコアの職員数見合いの移転先は新庁舎で対応可能との回答でした。であれば、新庁舎完成時に合わせてサンコアの図書館を先に移転し、充実した図書館になるように検討をお願いします。 高校生がサンコアの1階2階フロアで勉強しているのを見ると環境的にも暗く集中できないように見えますので新庁舎内には学習コーナーの設置等検討をお願いします。	図書館には、今後の設計もしくは庁舎建設後になると思いますが、サンコアと東庁舎含めて検討していますので、今後の検討事項とさせていただきます。
143	市民生活	市役所の建設も分かりますが、市民の生活の質の高上を考えていただけないでしょうか。	都市環境への貢献として、庁舎はまちの一部として、地域の環境改善に寄与します。建物周辺には緑地を整備し、生態系の保護や都市のヒートアイランド現象の緩和を図ります。また、公共施設として市民が利用できる広場や緑の空間を提供することで、地域住民の健康と福祉に貢献します。市全体の持続可能な発展を支える存在となることを目指します。
144	その他	施工監理業務の受託業者の担当者は9時00分から16時30分まで現場に常駐するように条件を付加してください。	今後、検討します。
145	その他	市議会はチェックあるところと思います。何を、チェックしましたか、議会も責任があります。	理由が不透明であり回答不可
146	その他	基本設計・実施設計において検討されることかもしれませんが、浸水想定地区である新庁舎のGLは、どこを基準にされるのでしょうか。	基本・実施設計において検討します。
147	その他	庁舎建設基本計画(素案)P10 第3章 1(3)の記載に、利用者の意向を重視し、障害者協議会などの障害当事者団体等の意見を汲み取る機会を設けることを明記し、基本設計段階等に、そのような機会を重ねて庁舎建設を進められるよう要望します。	基本設計段階等で検討します。
148	その他	新庁舎建設にあたっては、市内の事業者が請け負えるよう要望します。	公正・公平な入札制度に基づいて、適切に対応します。
149	その他	地元業者優先で発注をお願いします。	同上
150	その他	市庁舎と水害対策は進められているようですが、今後は市の品位・品格向上の為に是非進めてもらいたい。	市の品位・品格向上も考慮して進めます。